

## はじめに・・・

この飛騨川洪水ハザードマップは、50年に一度発生すると想定される大雨によって飛騨川が増水し、堤防から水が溢れた場合や堤防が決壊した場合の浸水予測結果（平成15年9月岐阜県下呂建設事務所作成）に基づいて、下呂市内（萩原町宮田～下呂三原）の住民の皆さんが安全に避難できるよう作成したものです。また、避難するために必要となる情報として、浸水想定深、避難所の位置及び一覧、緊急連絡先、避難時の心得等を記載しており、冊子には“水害について学習しよう”を掲載し、水害学習用にも活用していただくことも目的としています。

地域、家庭において、このハザードマップを参考にして、普段から災害に備え避難場所や避難経路について話し合い、避難時の持ち出し品の準備などに心がけてください。

市では飛騨川が増水や氾濫により住民の生命に危険が及ぶと判断した時は、その緊急性に応じ避難勧告や避難指示を発令しますが、大雨の時には、各自でも道路の冠水状況や雨の降り方などの気象情報を積極的に収集し、少しでも危険を感じたら早めの自主避難を心がけましょう。

なお、雨の降り方や地形より、このハザードマップで着色した区域以外でも浸水することも考えられますので、ご注意ください。

平成18年3月 下呂市

表紙の写真

上：被災前の旧下呂町温泉街

下：昭和33年7月 飛騨川大洪水  
被災後の旧下呂町温泉街

### 流出直前の朝霧橋



昭和33年7月飛騨川大洪水：この後さらに増水し、一瞬にしてワイヤーが切れた。